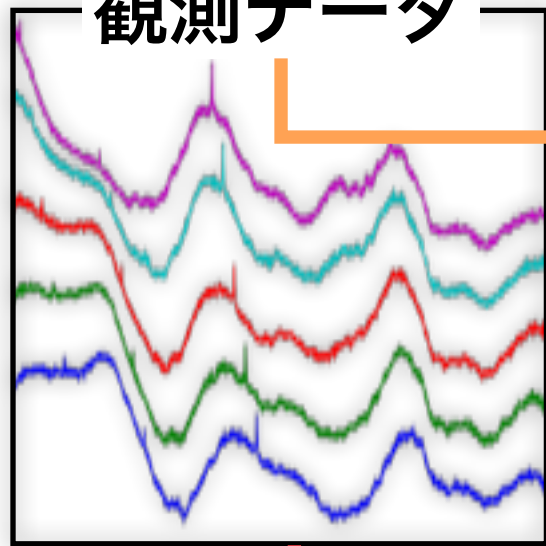


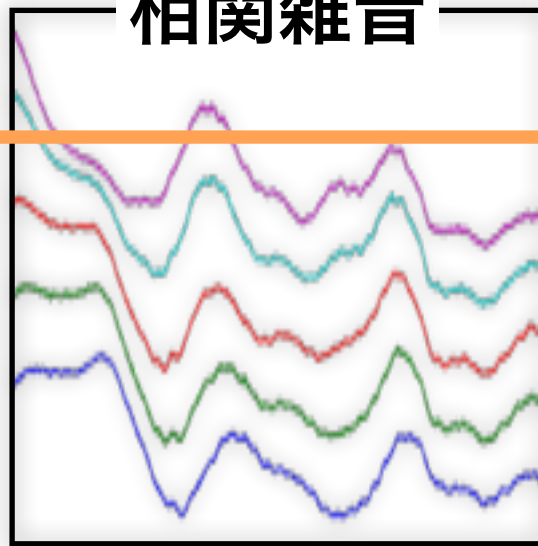
1. 相関雑音を反復的に推定 (Chapin+13)

収束判定(NO)

観測データ



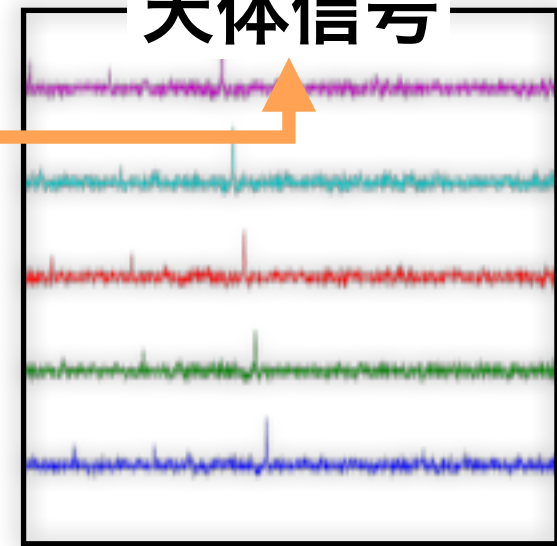
相関雑音



-

=

天体信号



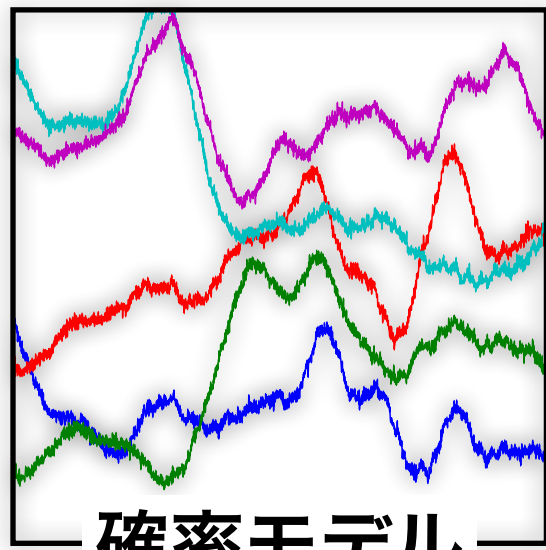
主成分分析 (PCA)

収束判定(YES)

2. 主成分分析の最適化

確率モデル(Tipping+99)を導入し、相関雑音に含まれるモードの数(=主成分数)を客観的かつ高速に決定

確率モデル



スペクトル

